

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2028年6月13日まで（2013年6月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型） 為替ヘッジあり	USエネルギーMLPファンド 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	USエネルギーMLPファンド	主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等を主要投資対象とします。 ・外貨建（米ドル建）資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。	

運用報告書（全体版）

米国エネルギーMLPオープン
（毎月決算型）為替ヘッジあり

愛称：エネルギー・ラッシュ



第124期（決算日：2023年11月13日）
 第125期（決算日：2023年12月13日）
 第126期（決算日：2024年1月15日）
 第127期（決算日：2024年2月13日）
 第128期（決算日：2024年3月13日）
 第129期（決算日：2024年4月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり」は、去る4月15日に第129期の決算を行いましたので、法令に基づいて第124期～第129期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◎運用のポイント

当期間については、景気減速懸念の高まりを受けて変動性が高い市場環境が継続すると想定し、クオリティ重視のポートフォリオを維持しました。ポートフォリオでは、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを模索するフェーズに入ったとの見方から、株価の反発が期待できると考え、これまで金利上昇が株価の重石になっていた再生可能エネルギー関連銘柄について、組入比率を引き上げました。

◎投資環境と今後の運用方針

コロナ禍に端を発した世界的な中央銀行によるインフレ（物価上昇）退治が終盤に近いとの見方が株式市場の下支え要因となっています。2024年に入り、バイデン政権はLNG輸出の新規許可を一時凍結し、気候変動への影響を精査することを発表しました。今後稼働を予定している多くのプロジェクトが既に必要な許認可を

取得済みであり、2028年までのLNG輸出の成長に与える影響は小さいと考えています。11月に米国大統領選挙を控えていることから、こうした動きはバイデン政権の選挙戦略の一環である可能性があります。

このような環境下で、エネルギー中流企業の投資魅力は相対的に高まっていると考えます。地政学リスクの高まりを受け、米国におけるエネルギー増産への期待が高まる中、エネルギー中流企業各社の財務状況は過去と比べると大きく改善しています。当面は変動性が高い市場環境が継続する見通しですが、引き続き、積極的な投資姿勢を維持する方針です。



ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
プライベート・アセット・マネジメント・グループ
ラクリン・グループ
マネージング・ディレクター
ダグラス A. ラクリン



マネージング・ディレクター
パオロ R. フラットロリ

上記は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	百万円	
100期(2021年11月15日)	3,853		10	△ 0.2	—	—	98.8	2,726
101期(2021年12月13日)	3,641		10	△ 5.2	—	—	98.5	2,510
102期(2022年1月13日)	3,834		10	5.6	—	—	97.2	2,552
103期(2022年2月14日)	3,819		10	△ 0.1	—	—	98.5	2,500
104期(2022年3月14日)	4,026		10	5.7	—	—	99.8	2,572
105期(2022年4月13日)	4,206		10	4.7	—	—	98.8	2,619
106期(2022年5月13日)	3,924		10	△ 6.5	—	—	97.5	2,468
107期(2022年6月13日)	4,148		10	6.0	—	—	98.3	2,610
108期(2022年7月13日)	3,749		10	△ 9.4	—	—	99.0	2,345
109期(2022年8月15日)	4,205		10	12.4	—	—	97.3	2,589
110期(2022年9月13日)	4,216		10	0.5	—	—	97.6	2,586
111期(2022年10月13日)	3,650		10	△13.2	—	—	99.4	2,224
112期(2022年11月14日)	4,010		10	10.1	—	—	93.3	2,408
113期(2022年12月13日)	3,912		10	△ 2.2	—	—	99.4	2,323
114期(2023年1月13日)	3,952		10	1.3	—	—	95.3	2,362
115期(2023年2月13日)	3,813		10	△ 3.3	—	—	97.9	2,305
116期(2023年3月13日)	3,592		10	△ 5.5	—	—	95.8	2,134
117期(2023年4月13日)	3,711		10	3.6	—	—	97.9	2,165
118期(2023年5月15日)	3,596		10	△ 2.8	—	—	99.6	2,084
119期(2023年6月13日)	3,578		10	△ 0.2	—	—	98.0	2,018
120期(2023年7月13日)	3,690		10	3.4	—	—	95.7	2,050
121期(2023年8月14日)	3,615		10	△ 1.8	—	—	99.2	1,993
122期(2023年9月13日)	3,575		10	△ 0.8	—	—	99.0	1,935
123期(2023年10月13日)	3,357		10	△ 5.8	—	—	99.1	1,797
124期(2023年11月13日)	3,353		10	0.2	—	—	99.0	1,763
125期(2023年12月13日)	3,430		10	2.6	—	—	98.1	1,761
126期(2024年1月15日)	3,460		10	1.2	—	—	97.7	1,726
127期(2024年2月13日)	3,317		10	△ 3.8	—	—	99.5	1,615
128期(2024年3月13日)	3,503		10	5.9	—	—	99.1	1,638
129期(2024年4月15日)	3,508		10	0.4	0.0	—	99.1	1,618

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰	落						
第124期	(期 首) 2023年10月13日	円 3,357	% -		% -		% -		% 99.1	
	10月末	3,332	△0.7		-		-		98.5	
	(期 末) 2023年11月13日	3,363	0.2		-		-		99.0	
第125期	(期 首) 2023年11月13日	3,353	-		-		-		99.0	
	11月末	3,509	4.7		-		-		96.7	
	(期 末) 2023年12月13日	3,440	2.6		-		-		98.1	
第126期	(期 首) 2023年12月13日	3,430	-		-		-		98.1	
	12月末	3,533	3.0		-		-		97.4	
	(期 末) 2024年1月15日	3,470	1.2		-		-		97.7	
第127期	(期 首) 2024年1月15日	3,460	-		-		-		97.7	
	1月末	3,451	△0.3		-		-		98.3	
	(期 末) 2024年2月13日	3,327	△3.8		-		-		99.5	
第128期	(期 首) 2024年2月13日	3,317	-		-		-		99.5	
	2月末	3,400	2.5		-		-		98.8	
	(期 末) 2024年3月13日	3,513	5.9		-		-		99.1	
第129期	(期 首) 2024年3月13日	3,503	-		-		-		99.1	
	3月末	3,609	3.0		-		-		98.7	
	(期 末) 2024年4月15日	3,518	0.4		0.0		-		99.1	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

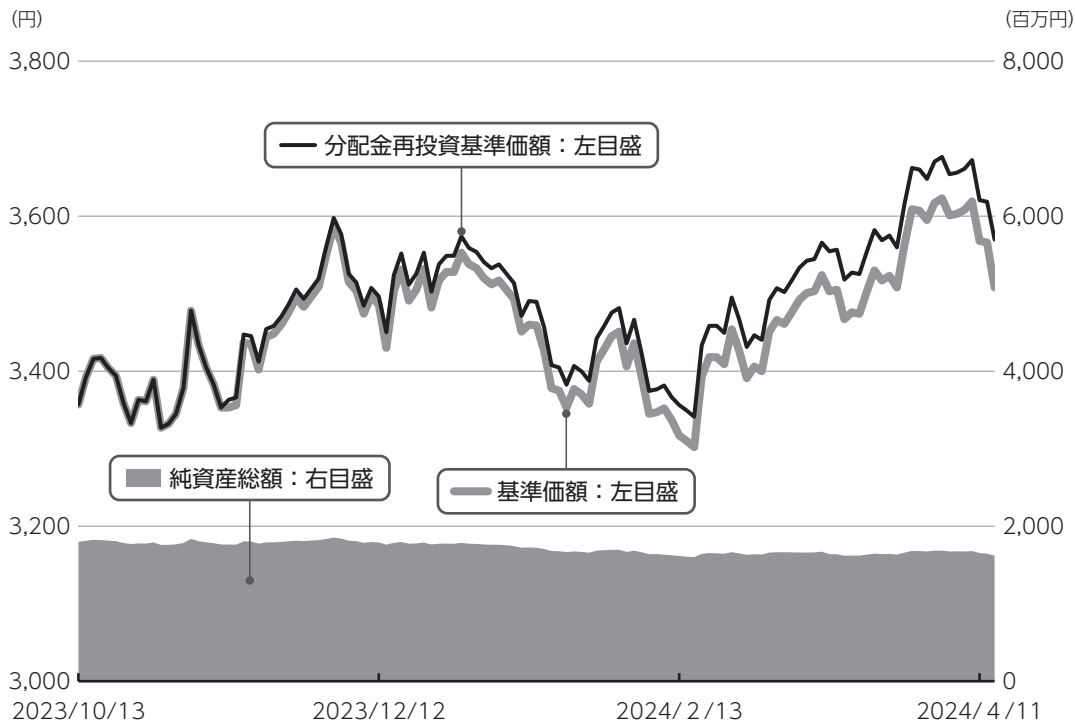
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第124期～第129期：2023年10月14日～2024年4月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第124期首	3,357円
第129期末	3,508円
既払分配金	60円
騰落率	6.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

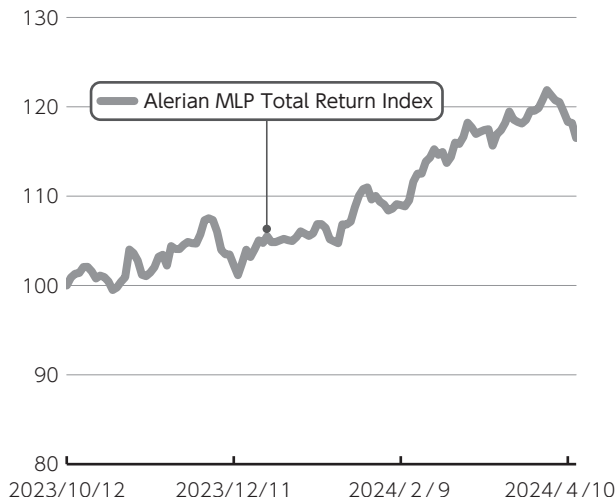
上昇要因

個別銘柄（TARGA RESOURCES CORPなど）の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第124期～第129期：2023年10月14日～2024年4月15日

投資環境について

MLP市況の推移（当作成期首を100として指数化）



（注）「Alerian MLP Total Return Index」は、Alerianの登録商標であり、Alerianからの使用許諾に基づき使用しています。

（注）現地日付ベースで記載しております。

国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移していたものの、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除したことにより、期間末には0%を上回りました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は3月19日まで長短金利を操作目標として金融市場調節を行ってきましたが、3月21日以降は、無担保コール翌日物金利を操作目標としました。コール・レート（無担保・翌日物）は上述のマイナス金

MLP市況

期間を通してみると、MLP市況は上昇しました。

一部のMLP関連銘柄が良好な決算を発表したことや、中東情勢の緊迫化などを受けて原油供給をめぐる懸念が高まったことなどを背景とした原油価格の上昇などを受け、MLP市況は上昇しました。

利政策解除によりプラス圏に上昇し、足下のコール・レートは0.077%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

外貨建（米ドル建）資産については対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ USエネルギーMLPファンド

主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行いました。

ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行いました。

MLP等の組入比率は、高位を維持しました。

個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内としました。

個別証券の期間中売買では、PEMBINA PIPELINE CORP（石油・ガス貯蔵・輸送）やKINETIK HOLDINGS INC（石油・ガス貯蔵・輸送）などの投資比率を引き下げた一方、DT MIDSTREAM INC（石油・ガス貯蔵・輸送）やBROOKFIELD RENEWABLE CORP-A（再生エネルギー系発電事業者）などの投資比率を引き上げました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第124期 2023年10月14日～ 2023年11月13日	第125期 2023年11月14日～ 2023年12月13日	第126期 2023年12月14日～ 2024年1月15日	第127期 2024年1月16日～ 2024年2月13日	第128期 2024年2月14日～ 2024年3月13日	第129期 2024年3月14日～ 2024年4月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.297%)	10 (0.291%)	10 (0.288%)	10 (0.301%)	10 (0.285%)	10 (0.284%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,201	1,207	1,212	1,215	1,221	1,225

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

引き続き、米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を主要投資対象とします。外貨建（米ドル建）資産については原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ USエネルギーMLPファンド

引き続き、主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行う方針です。投資先のキャッシュ・フロー創出力や財務健全性に注意を払った銘柄選択を継続する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定していません。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2023年10月14日～2024年4月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第124期～第129期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	21	0.601	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(7)	(0.195)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.389)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	21	0.607	

作成期中の平均基準価額は、3,459円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

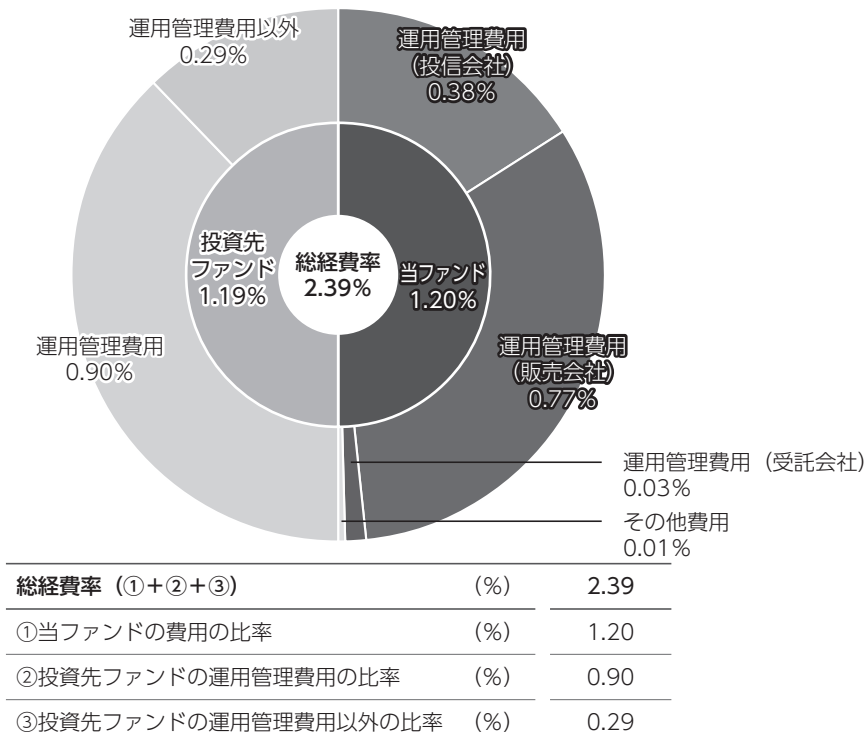
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.39%**です。



(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年10月14日～2024年4月15日)

投資信託証券

銘柄		第124期～第129期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	USエネルギーMLPファンド	259,892	855	945,272	3,062

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年10月14日～2024年4月15日)

利害関係人との取引状況

<米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり>

区分	第124期～第129期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	12,103	5,324	44.0	11,846	5,288	44.6
為替直物取引	75	32	42.7	455	115	25.3

<マネー・プール マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2024年4月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第123期末		第129期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
USエネルギーMLPファンド	3,793,213	3,107,832	10,451	1,603,908	99.1
合計	3,793,213	3,107,832	10,451	1,603,908	99.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	柄	第123期末		第129期末	
		口数	千口	口数	千口
マネー・プール	マザーファンド		996		999

○投資信託財産の構成

(2024年4月15日現在)

項目	第129期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,603,908千円	97.1%
マネー・プール マザーファンド	999	0.1
コール・ローン等、その他	46,454	2.8
投資信託財産総額	1,651,361	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（1,619,315千円）の投資信託財産総額（1,651,361千円）に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=153.46円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2023年11月13日現在	2023年12月13日現在	2024年1月15日現在	2024年2月13日現在	2024年3月13日現在	2024年4月15日現在
(A) 資産	3,521,510,315円	3,564,244,490円	3,427,008,365円	3,287,887,727円	3,261,766,510円	3,235,502,662円
コール・ローン等	64,992,101	74,151,254	47,475,703	95,990,988	51,812,590	26,498,534
投資信託受益証券(評価額)	1,746,863,403	1,728,726,876	1,687,694,559	1,606,291,080	1,623,993,541	1,603,908,634
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999,602	999,602	999,602	999,602	999,602	999,900
未収入金	1,708,655,209	1,760,366,758	1,690,838,501	1,584,606,057	1,584,960,777	1,604,095,540
未収利息	-	-	-	-	-	54
(B) 負債	1,757,641,739	1,802,823,325	1,700,327,937	1,672,728,643	1,622,888,381	1,616,890,967
未払金	1,749,579,033	1,794,873,084	1,688,390,962	1,656,231,012	1,593,791,591	1,601,510,241
未払収益分配金	5,259,844	5,135,665	4,990,671	4,869,858	4,678,915	4,614,427
未払解約金	985,103	1,043,327	5,035,495	10,040,222	22,850,132	8,974,511
未払信託報酬	1,801,074	1,755,004	1,893,282	1,572,992	1,553,358	1,775,362
未払利息	19	3	6	6	11	-
その他未払費用	16,666	16,242	17,521	14,553	14,374	16,426
(C) 純資産総額(A-B)	1,763,868,576	1,761,421,165	1,726,680,428	1,615,159,084	1,638,878,129	1,618,611,695
元本	5,259,844,076	5,135,665,471	4,990,671,576	4,869,858,368	4,678,915,743	4,614,427,851
次期繰越損益金	△3,495,975,500	△3,374,244,306	△3,263,991,148	△3,254,699,284	△3,040,037,614	△2,995,816,156
(D) 受益権総口数	5,259,844,076口	5,135,665,471口	4,990,671,576口	4,869,858,368口	4,678,915,743口	4,614,427,851口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,353円	3,430円	3,460円	3,317円	3,503円	3,508円

○損益の状況

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日	2023年12月14日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月13日	2024年2月14日～ 2024年3月13日	2024年3月14日～ 2024年4月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,778,995	8,479,300	8,248,481	7,923,460	7,278,419	8,037,015
受取配当金	8,807,099	8,467,646	8,164,670	7,967,109	7,383,440	7,979,966
受取利息	137	59,179	112,639	3,951	58,150	56,592
支払利息	△ 28,241	△ 47,525	△ 28,828	△ 47,600	△ 163,171	457
(B) 有価証券売買損益	△ 3,495,926	37,538,819	13,573,457	△ 71,199,682	85,978,562	648,206
売買益	1,804,394,622	1,809,137,292	1,747,296,259	1,689,294,153	1,674,915,155	1,695,401,204
売買損	△1,807,890,548	△1,771,598,473	△1,733,722,802	△1,760,493,835	△1,588,936,593	△1,694,752,998
(C) 信託報酬等	△ 1,821,517	△ 1,771,246	△ 1,910,803	△ 1,589,415	△ 1,573,396	△ 1,793,697
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,461,552	44,246,873	19,911,135	△ 64,865,637	91,683,585	6,891,524
(E) 前期繰越損益金	△1,121,850,945	△1,094,915,588	△1,024,481,254	△ 982,901,376	△1,010,016,801	△ 908,578,832
(F) 追加信託差損益金	△2,372,326,263	△2,318,439,926	△2,254,430,358	△2,202,062,413	△2,117,025,483	△2,089,514,421
(配当等相当額)	(466,748,365)	(456,051,167)	(443,403,426)	(433,024,725)	(416,244,452)	(410,794,617)
(売買損益相当額)	(△2,839,074,628)	(△2,774,491,093)	(△2,697,833,784)	(△2,635,087,138)	(△2,533,269,935)	(△2,500,309,038)
(G) 計(D+E+F)	△3,490,715,656	△3,369,108,641	△3,259,000,477	△3,249,829,426	△3,035,358,699	△2,991,201,729
(H) 収益分配金	△ 5,259,844	△ 5,135,665	△ 4,990,671	△ 4,869,858	△ 4,678,915	△ 4,614,427
次期繰越損益金(G+H)	△3,495,975,500	△3,374,244,306	△3,263,991,148	△3,254,699,284	△3,040,037,614	△2,995,816,156
追加信託差損益金	△2,372,326,263	△2,318,439,926	△2,254,430,358	△2,202,062,413	△2,117,025,483	△2,089,514,421
(配当等相当額)	(466,748,365)	(456,051,167)	(443,403,426)	(433,024,725)	(416,244,452)	(410,794,617)
(売買損益相当額)	(△2,839,074,628)	(△2,774,491,093)	(△2,697,833,784)	(△2,635,087,138)	(△2,533,269,935)	(△2,500,309,038)
分配準備積立金	165,313,894	164,133,838	161,862,162	159,092,345	155,166,374	154,526,334
繰越損益金	△1,288,963,131	△1,219,938,218	△1,171,422,952	△1,211,729,216	△1,078,178,505	△1,060,828,069

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 5,354,536,335円

 作成期中追加設定元本額 51,922,926円

 作成期中一部解約元本額 792,031,410円

 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3508円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,995,816,156円です。

③分配金の計算過程

項 目	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日	2023年12月14日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月13日	2024年2月14日～ 2024年3月13日	2024年3月14日～ 2024年4月15日
費用控除後の配当等収益額	6,957,470円	8,152,851円	7,526,184円	6,334,042円	7,155,692円	6,377,311円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	466,748,365円	456,051,167円	443,403,426円	433,024,725円	416,244,452円	410,794,617円
分配準備積立金額	163,616,268円	161,116,652円	159,326,649円	157,628,161円	152,689,597円	152,763,450円
当ファンドの分配対象収益額	637,322,103円	625,320,670円	610,256,259円	596,986,928円	576,089,741円	569,935,378円
1万口当たり収益分配対象額	1,211円	1,217円	1,222円	1,225円	1,231円	1,235円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	5,259,844円	5,135,665円	4,990,671円	4,869,858円	4,678,915円	4,614,427円

○分配金のお知らせ

	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありが投資対象とする米ドル建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	U S エネルギー M L P ファンド
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等*を主要投資対象とします。 *MLP等には、MLPの出資持分のほか、MLPと実質的に同様の経済的な特徴を有するLLC（リミテッド・ライアビリティ・カンパニー）の出資持分、MLPに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびMLPに関連するその他の証券を含みます。 ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。 ※エネルギーや天然資源関連以外のMLP等にも投資を行う場合があります。 ・MLP等の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内とします。
投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー* (Neuberger Berman Investment Advisers LLC)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2013年6月28日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

*ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー（所在地：米国）は、ニューバーガー・バーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・バーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。（2023年10月末現在）

USエネルギーMLPファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2022年12月30日に終了する期間

(千米ドルで表示)

収益

受取配当金	4,850
受取利息	38
収益合計	4,888

費用

運用受託報酬	(1,185)
管理者報酬	(178)
専門家報酬	(417)
名義書換事務代行手数料	(15)
保管費用	(22)
受託者報酬	(10)
費用合計	(1,827)

投資純利益（損失）	3,061
------------------	--------------

投資売却に係る実現純利益（損失）	10,624
------------------	--------

当期実現純利益（損失）	10,624
--------------------	---------------

未実現評価益（評価損）の純変動：

- 投資	3,777
	3,777

法人所得税	(2,552)
-------	---------

運用による純資産の純増減	14,910
---------------------	---------------

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

2022年12月30日に終了する期間

(千米ドルで表示)

期首純資産	147,735
純投資利益（損失）（税額控除後）	509
投資に係る実現純利益（損失）	10,624
	10,624
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	3,777
	3,777
追加設定	6,634
一部解約	(34,369)
再投資	7,369
支払分配金	(7,369)
	(27,735)
期末純資産	134,910

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

証券取引所に上場されるか別の規制市場で取引される譲渡可能な証券

(2022年12月30日現在)

(千米ドルで表示)

有価証券

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
CANADA					
BROOKFIELD RENEWABLE COR-A	USD	75,000	2,844	2,066	1.53%
ENBRIDGE INC	USD	90,000	3,506	3,519	2.61%
PEMBINA PIPELINE CORP	USD	166,000	5,457	5,636	4.18%
TC ENERGY CORP	USD	112,000	5,617	4,464	3.31%
			17,424	15,685	11.63%
UNITED KINGDOM					
ATLANTICA SUSTAINABLE INFRASTRUCTURE PLC	USD	50,000	1,941	1,295	0.96%
			1,941	1,295	0.96%
UNITED STATES					
ANTERO MIDSTREAM CORP	USD	960,000	8,806	10,358	7.68%
CENTERPOINT ENERGY INC	USD	300,000	8,630	8,997	6.67%
CHENIERE ENERGY INC	USD	58,000	4,368	8,698	6.45%
CLEARWAY ENERGY INC-C	USD	254,000	9,026	8,095	6.00%
DOMINION ENERGY INC	USD	28,000	2,100	1,717	1.27%
DT MIDSTREAM INC	USD	50,000	2,386	2,763	2.05%
HESS MIDSTREAM LP - CLASS A	USD	180,000	4,495	5,386	3.99%
KINDER MORGAN INC	USD	140,000	2,285	2,531	1.88%
NEXTERA ENERGY PARTNERS LP	USD	144,000	10,378	10,093	7.48%
ONEOK INC	USD	154,000	4,836	10,118	7.50%
PHILLIPS 66	USD	18,000	1,240	1,873	1.39%
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	USD	376,000	3,703	4,677	3.47%
SEMPRA	USD	64,000	8,495	9,891	7.33%
TARGA RESOURCES CORP	USD	144,000	3,916	10,584	7.85%
WILLIAMS COS INC	USD	306,000	6,805	10,067	7.46%
KINETIK HOLDINGS INC	USD	276,000	9,243	9,130	6.77%
			90,713	114,978	85.24%
TOTAL INVESTMENT IN SECURITIES			110,078	131,958	97.83%
CASH AT BANKS				2,312	1.71%
OTHER NET ASSETS				640	0.46%
TOTAL NET ASSETS				134,910	100.00%

マネー・プール マザーファンド

《第29期》決算日2024年1月15日

[計算期間：2023年7月15日～2024年1月15日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月15日に第29期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比	券率	債先物比	券率	純総	資産額
		騰落	中率						
	円		%		%				百万円
25期(2022年1月14日)	10,040		0.0		—		—		52
26期(2022年7月14日)	10,039		△0.0		—		—		48
27期(2023年1月16日)	10,036		△0.0		—		—		47
28期(2023年7月14日)	10,035		△0.0		—		—		141
29期(2024年1月15日)	10,034		△0.0		—		—		52

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債組入比	券率	債先物比	券率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2023年7月14日	10,035		—		—		—
7月末	10,035		0.0		—		—
8月末	10,034		△0.0		—		—
9月末	10,034		△0.0		—		—
10月末	10,034		△0.0		—		—
11月末	10,034		△0.0		—		—
12月末	10,034		△0.0		—		—
(期末)							
2024年1月15日	10,034		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

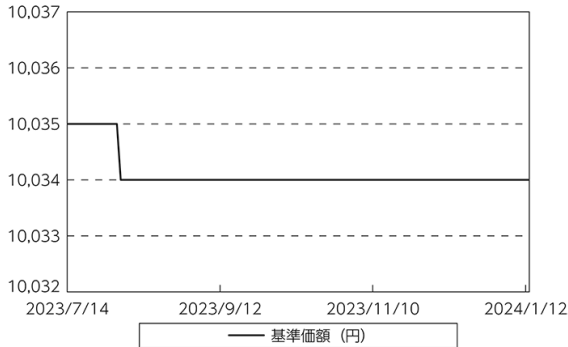
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.009%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2023年7月15日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2023年7月15日～2024年1月15日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 5,499,997	千円 5,599,997

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年7月15日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

2024年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 52,927	% 100.0
投資信託財産総額	52,927	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月15日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	52,927,988
コール・ローン等	52,927,988
(B) 負債	24
未払解約金	14
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	52,927,964
元本	52,747,529
次期繰越損益金	180,435
(D) 受益権総口数	52,747,529口
1口当たり基準価額(C/D)	10,034円

<注記事項>

- ①期首元本額 141,379,662円
 期中追加設定元本額 6,231,751円
 期中一部解約元本額 94,863,884円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0034円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	47,995,660円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	99,661円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジなし)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン(為替ヘッジあり)	4,979円
合計	52,747,529円

【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年7月15日～2024年1月15日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 5,757
受取利息	233
支払利息	△ 5,990
(B) 当期損益金(A)	△ 5,757
(C) 前期繰越損益金	490,848
(D) 追加信託差損益金	21,167
(E) 解約差損益金	△325,823
(F) 計(B+C+D+E)	180,435
次期繰越損益金(F)	180,435

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。